

【同窓会だより 34 回生】

34 回生卒業後 50 年記念クラス会報告

三吉 凡夫(34 回生)



去る平成 21 年 10 月 17 日、秋色深まる美濃路(岐阜県)のクアリゾート「ホテル花更紗」において標記クラス会を開催しました。山田先生をはじめとして遠く北海道、四国、中国地方を含め 16 名(二組のご夫婦を含む)の参加をいただき楽しく開催することができました。思い起こせば、私たちが卒業した昭和 34 年春には現在の天皇、皇后両陛下の「ご成婚の儀」に沸き、秋には史上最大の犠牲者を出した「伊勢湾台風」が襲った年として忘れることができません。

さて、物故者に対する黙祷の後、記念撮影、山持氏による乾杯の音頭で賑やかに開宴し、お互い酒は少し弱くなったが同級生の近況、孫のこと、それにも増してお互いの体や健康が話題の中心で、あっという間に時間が過ぎました。その後、二次会となり夜の更けるのも忘れて語り合いました。(政治のことも?)

翌日は前日と変わって快晴のもと車に分乗して中仙道の妻籠、馬籠の散策をし、途中江戸時代にタイムスリップしたような装束でウォーキングする一行にも出会い楽しい半日を過ごし、正午前、中津川駅で解散しました。

なお、午後は有志で恵那市の岩村町、大正村(明智町)の古い街並みの由緒ある店などを冷やかしながら宿泊地、蛭川町の山深き「キノコの宿」で宿泊し、静かな夜を飲みながら満喫した次第です。

最後にお忙しいなかご出席いただいた山田先生(先生は 13 回開催した同窓会でただ一度の欠席のみ)に感謝とともにお礼申し上げます。更に終始一貫私たちの会をリードしていただいた後藤大兄に感謝! 感謝! です。

来年は10月頃、久しぶりの京都での開催となります。今回参加した方、できなかった方、京都で会いましょう。

出席者

山田先生、縣 祥元、井内政男、石黒信夫夫妻、稲井 敬、金口 稔、後藤正季、白井直器、鈴木寿一、遠山坦彦、中澤宏吉、三吉凡夫、山持 誠夫妻、吉川貞男

以上

*通巻 194 号 2010 年 1 月 10 日発行(H21-No.4)より